

パブリックコメントの結果について

募集期間：令和6年1月4日～令和6年1月31日

応募件数：1件

○団体及び市民の方から延べ4件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	検討	反映困難	その他	合計
0件	4件	0件	0件	4件

【文章修正等】・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

【検討】・・・計画の実施段階で検討または対応すべきもの。

【反映困難】・・・反映が困難なもの。

【その他】・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

提出された意見等の詳細及び回答

番号	応募方法	募集要件	意見等	回 答
1	持参	市内に住 所を有す る人	<p>①P7～P13 で弘前市における自殺の現状がわかりやすい。この情報を広報などで知らせてもいいのではないだろうか。但し、自殺予防策も同時に掲載する必要があると思われる。</p> <p>②P12 の若年者の特性によると、弘前市では 20 歳代の大学生が多い傾向にあるとのことなので、市内の大学・短大などと連携をとって、自殺予防にとりくむ必要があると思われる。</p>	<p>①第 2 期弘前市自殺対策計画策定後、計画の内容や市の自殺の現状等を広報や市ホームページに掲載し、周知してまいります。</p> <p>②市では、市内の大学や看護学校と連携し、悩んでいる人に「気づき」「声をかけ」「話を聴いて」必要な支援に「つなげて見守る」ゲートキーパー養成講座を実施しているほか、「こころの健康相談」に相談があった場合には、必要に応じて、大学等と情報共有し、相談者の支援をしております。また、自殺対策推進のための連絡調整及び情報交換を行い、関係機関が連携協力するために、大学の教員が構成メンバーに加</p>

			<p>③P15の②総合的評価がとてもわかりやすいので、広報にのせて市民に知らせる方がいいと思う。</p> <p>④自殺予防対策委員会をたちあげて、そのメンバーに精神科の医師、保健師、看護師、養護教諭、うつ病の患者さんが加わって、年2～3回会議をすればいいと思う。</p>	<p>わり、「弘前市自殺対策連絡会議」を開催しております。今後も引き続き、大学等と連携を強化してまいります。</p> <p>③第2期弘前市自殺対策計画策定後、市ホームページに本計画を全文掲載する予定です。広報への掲載内容につきましては、①の内容も含めて検討してまいります。</p> <p>④市では、弘前市医師会や弘前薬剤師会、市教育委員会などの関係機関で構成する「弘前市自殺対策連絡会議」を開催し、自殺対策推進のための連絡調整及び情報交換を行い、連携協力について協議しております。現メンバーに、うつ病患者は参画しておりませんが、今後その必要性も含めて検討してまいります。</p>
--	--	--	---	---

